



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年7月30日

上場会社名 株式会社enish 上場取引所 東
 コード番号 3667 URL <http://www.enish.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 全功
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松本 浩介 TEL 03(5791)2131
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の業績（平成25年1月1日～平成25年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	3,146	—	718	—	718	—	442	—
24年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	167.90	132.43
24年12月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、第2四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、平成24年12月期第2四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	2,008	1,421	70.7
24年12月期	1,598	1,052	65.7

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 1,419百万円 24年12月期 1,050百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	28.00	28.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無
 平成25年12月期の配当予測につきましては現在未定であります。

3. 平成25年12月期の業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	51.2	820	23.1	800	22.3	450	20.5	170.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 有 |
| ④ 修正再表示 | : | 無 |

(注) 詳細は、添付資料のP. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) |

25年12月期 2 Q	2,644,880株	24年12月期	2,637,400株
25年12月期 2 Q	－株	24年12月期	－株
25年12月期 2 Q	2,638,061株	24年12月期 2 Q	－株

(注) 当社は、第2四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、平成24年12月期第2四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成25年7月31日(水)に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、依然として欧州債務危機などを背景とした海外景気の減速などにより、不透明な状況で推移しながらも、政権交代に伴う財政出動への期待感から株式市場は上昇傾向、為替市場は円安傾向と一定の回復の兆しを見せ始めました。

当社の事業領域である、ソーシャルアプリ事業を取り巻く環境につきましては、スマートフォン契約数が平成25年1月末に4,061万件となり、平成25年3月末には4,337万件に達する見込みであります。また平成25年度以降のスマートフォン契約数（スマートフォン契約比率）は、平成26年3月末には5,915万件（49.3%）、平成27年3月末には7,112万件（58.1%）となり、平成26年度中にはスマートフォン契約数が過半数に達する見通しであります（株式会社MM総研調べ、平成25年3月現在）。

また、国内ソーシャルゲーム市場は依然成長を続けており、平成24年度は前年度比137%の3,870億円、平成25年度は同110%の4,256億円と成長率は鈍化するものの、今後も拡大する見通しであります（ユーザー課金ベース、広告収入除く。株式会社矢野経済研究所調べ、平成24年12月現在）。

このような事業環境の中、当社では当第2四半期累計期間においては既存タイトルの安定した収益貢献を基盤としながら、5月に当社として初の大型版權を採用した「魁！男塾」をリリースし、順調にユーザー数は拡大しております。また、スマートフォンの普及に伴い、既存タイトルのネイティブのアプリケーション（注1）対応に積極的に取り組みを進め、当事業年度にはネイティブのアプリケーション版として3タイトルのリリースを予定しており、今後の収益拡大への寄与が期待されます。

さらに、ゲーミフィケーション（注2）を活用したキャラクターアイテムの提供や0 to 0（注3）プロモーション活動も引き続き進めており、様々な企業と積極的に提携を行っていく所存です。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は3,146百万円、営業利益は718百万円、経常利益は718百万円、四半期純利益は442百万円となっております。

- （注）1. ネイティブのアプリケーションとは、主にスマートフォン向けに提供されるアプリを指す語として、端末のCPUが直接処理・実行できる形式でコードが記述されているアプリの総称のことをいいます。
2. ゲーミフィケーションとは、ゲーム制作でのユーザーを楽しませるノウハウをゲーム以外に用いて、ユーザーの購買意欲や満足度を高めることをいいます。
3. 0 to 0とは、Online To Offlineの略でゲームにおけるユーザーのモチベーションやロイヤリティを利用して、実店舗における購買活動に結びつけ、実店舗の集客支援につなげる仕組みをいいます。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末の流動資産につきましては、前事業年度末に比べて383百万円増加し、1,891百万円となりました。これは主に、ソーシャルアプリ事業の売上高の増加による現金及び預金の増加（前事業年度末比383百万円の増加）によるものであります。固定資産につきましては、前事業年度末に比べて26百万円増加し、116百万円となりました。これは主に、無形固定資産の増加（前事業年度末比7百万円の増加）及び投資その他の資産の増加（前事業年度末比13百万円の増加）によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ409百万円増加し、2,008百万円となりました。

（負債）

当第2四半期会計期間末の流動負債につきましては、前事業年度末に比べて37百万円増加し、576百万円となりました。これは主に、未払法人税等の増加（前事業年度末比153百万円の増加）があった一方で、未払金の支払い等による流動負債のその他の減少（前事業年度末比123百万円の減少）によるものであります。固定負債につきましては、前事業年度末に比べて2百万円増加し、10百万円となりました。これは、資産除去債務の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ40百万円増加し、586百万円となりました。

（純資産）

当第2四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて369百万円増加し、1,421百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加（前事業年度末比442百万円の増加）があった一方で、配当金の支払いによる利益剰余金の減少（前事業年度末比73百万円の減少）によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、1,092百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動により獲得した資金は、484百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴い税引前四半期純利益718百万円の計上、売上債権の減少52百万円があった一方で、法人税等の支払額183百万円、未払金の減少94百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動により使用した資金は、28百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出8百万円、本社サテライトオフィス新設に伴う敷金及び保証金の差入による支出12百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動により使用した資金は、72百万円となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出72百万円によるものであります。

（3）業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績につきましては、平成25年6月17日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、業績予想を上方修正しております。

通期の業績予想につきましては、当社は第3四半期以降、ネイティブアプリを中心に3タイトルの投入を予定しており、追加で1タイトルの投入を決定いたしました。売上状況の業績に与える影響が不明なことから、通期業績予想は前回予想を据え置いております。

（参考）

通期業績見通し（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

売上高	6,700百万円（前事業年度比51.2%の増加）
営業利益	820百万円（前事業年度比23.1%の増加）
経常利益	800百万円（前事業年度比22.3%の増加）
当期純利益	450百万円（前事業年度比20.5%の増加）

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更が、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	708,976	1,092,510
売掛金	731,863	678,874
その他	67,495	120,184
流動資産合計	1,508,335	1,891,568
固定資産		
有形固定資産	29,215	34,562
無形固定資産	11,484	19,164
投資その他の資産	49,460	63,007
固定資産合計	90,161	116,734
資産合計	1,598,496	2,008,303
負債の部		
流動負債		
買掛金	65,288	73,289
未払法人税等	183,302	336,348
その他	290,343	167,065
流動負債合計	538,935	576,703
固定負債		
資産除去債務	7,458	10,039
固定負債合計	7,458	10,039
負債合計	546,394	586,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	182,389	182,576
資本剰余金	181,389	181,576
利益剰余金	686,527	1,055,611
株主資本合計	1,050,305	1,419,763
新株予約権	1,796	1,796
純資産合計	1,052,102	1,421,560
負債純資産合計	1,598,496	2,008,303

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	3,146,883
売上原価	1,968,477
売上総利益	1,178,405
販売費及び一般管理費	459,590
営業利益	718,815
営業外収益	
受取利息	51
営業外収益合計	51
営業外費用	
為替差損	444
営業外費用合計	444
経常利益	718,423
税引前四半期純利益	718,423
法人税、住民税及び事業税	330,536
法人税等調整額	△55,044
法人税等合計	275,491
四半期純利益	442,931

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	718,423
減価償却費	6,419
受取利息及び受取配当金	△51
売上債権の増減額 (△は増加)	52,988
その他の資産の増減額 (△は増加)	901
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,000
未払金の増減額 (△は減少)	△94,669
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,737
その他の負債の増減額 (△は減少)	△21,653
小計	667,620
利息及び配当金の受取額	51
法人税等の支払額	△183,513
営業活動によるキャッシュ・フロー	484,159
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△8,747
無形固定資産の取得による支出	△7,765
敷金及び保証金の差入による支出	△12,092
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,604
財務活動によるキャッシュ・フロー	
新株予約権の行使による株式の発行による収入	374
配当金の支払額	△72,394
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,020
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	383,533
現金及び現金同等物の期首残高	708,976
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,092,510

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。